



2020年6月5日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2020年ブルーリボン賞・ローレル賞決定

ブルーリボン賞 (第63回)

■ 西武鉄道 001系

ローレル賞 (第60回)

■ 四国旅客鉄道 2700系

鉄道友の会(会長 須田 寛、会員約3,000名)は、西武鉄道001系をブルーリボン賞(最優秀車両)に、また、四国旅客鉄道2700系をローレル賞(優秀車両)に選定しました。

なお、ブルーリボン賞は第63回、ローレル賞は第60回となります。

賞の趣旨、選定車両の解説・選定理由などは別紙をご覧ください。

西武鉄道 001系

西武鉄道 001系は、10000系 New Red Arrow より 25年ぶりに投入された新型特急車です。

001系という系列称号は、2012年に開業100周年を迎え、次の100年に向けてこれまでにない新たなフラッグシップ車両という思いを逆から表し、「00」には「∞（無限）」の可能性の意味も込められています。また「Luxury（贅沢）」な「Living（リビング）」のような空間、「Arrow（矢）」のような速達性、大きな窓から移りゆく「View（眺望）」のコンセプトから「Laview」という愛称が名付けられています。

車体はアルミニウム合金ダブルスキン構造で、地下鉄線乗り入れも考慮された寸法となっています。独特な球面デザインの先頭部のほか、「都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む」というデザインコンセプトのもと、高精細アルミ粒子顔料や多層塗装工程により塗面平滑性が高く美しい仕上がりの半光沢メタリックシルバーのカラーリングが大きな特徴となっています。大型の側窓が等間隔に配置され、すっきりとした側見付と大きな眺望が両立されています。

客室内は黄色を基調として明るく温かみのある空間にまとめられています。身体を包み込むような形状の回転式リクライニングシートは、可動式ヘッドレストやACコンセントなど機能が充実。カーテンは光の洩れ方、折り目・縫い目など入念な検討が行われたものが採用されています。車いすスペース・フリースペース、及び隣接する多目的トイレも電動車いす対応可能で、広い空間を確保。洗面所・パウダールームは女性意見を反映してハンドドライヤーや拡大鏡などが設置されています。

機器類は、フルSiC 2レベルVVVFインバータ制御装置によりPGセンサレスベクトル制御が行われ、全密閉式三相かご型誘導電動機の採用により低騒音化・省電力化が図られています。制動方式は回生ブレーキ併用段制御式全電気指令電磁直通ブレーキで、遅れ込め機能付き。台車は軸梁式軸箱支持方式ボルスタレス空気ばね台車で、軸ダンパ搭載により乗り心地の向上が図られています。補助電源装置は3レベルIGBT-SIVで待機二重系として冗長性が向上。列車情報管理装置S-TIMが搭載され、各機器の指令・監視が行われています。

001系は、スタイリッシュで特徴的な外観デザイン、良質な雰囲気と備えつつ機能性の充実やバリアフリーの促進が図られた客室・設備のほか、最新水準の機器類の積極採用による省保守性や信頼性の向上、環境負荷の低減など、現代の鉄道車両として完成度が極めて高く魅力あふれる車両にまとめられています。これらを評価し、ブルーリボン賞に選定しました。



ブルーリボン賞 西武鉄道 001系

写真：鉄道友の会

四国旅客鉄道 2700 系

四国旅客鉄道（JR 四国）2700 系は、登場以来 30 年を経過した世界初の振り式気動車 2000 系の置き換えを目的に開発された特急形気動車です。土讃線など山間部の曲線の多い厳しい線形に対応するため、引き続き実績のある制御付き自然振りシステムが採用されています。動力システム、車内外設備は 2016 年に登場した 2600 系を踏襲していますが、それより軽量化が図られているなど、これまでの技術を集大成した完成度の高い車両です。

車両は運転台が上り方（岡山・高松寄り）に設置されている Mc 車 2700 形、下り方（高知・徳島寄り）に設置されている Mc' 車 2750 形および Msc 車 2800 形から構成されています。また、Msc 車の先頭側を半室はグリーン室としています。輸送量に合わせて 1 両単位で増結が可能です。

最大の特徴である車体傾斜については、2000 系・8000 系で実績のある制御付き自然振りシステムを採用し、機構はベアリングガイド式を採用しています。自然振りは物理法則に基づく信頼性の高いシステムですが、曲線進入時に車体傾斜が遅れる問題がありました。これを根本的に解決したのが制御付き自然振りシステムで、曲線進入の手前で緩やかに車体を傾斜させ車体傾斜遅れをなくすことにより、乗り心地を大幅に改善しています。傾斜角度は 5° で、曲線半径 600m で本則 +30km/h を実現しています。気動車特有の推進軸が車体傾斜に影響を及ぼす問題は、エンジンを 2 台配置して相互に逆回転させることで、影響を打ち消す仕組みとなっています。制御付き自然振り、気動車での振りとも、JR 四国がオリジナルでかつ JR 各社に普及した基盤的かつ汎用的技術を継承しています。

車体は軽量ステンレス構造で、先頭構体は普通鋼となっています。内装は、グリーン車は茶系統でまとめられた落ち着いた空間、普通車は木質感のある床に青系統のシートが印象的です。LED 間接照明、各座席のコンセント、大型のテーブル、車内 LAN など、高いレベルの接客設備となっています。Mc 車には車いすスペースと多機能トイレ、Msc 車には多目的室も設置されています。

ディーゼル機関は 450PS (331kW) が各車 2 台の高出力、変速機は変速 2 段・直結 4 段の高性能なものになっています。

2700 系は、2019 年 8 月に高徳線の特急「うずしお」に一部で投入後段階的に投入され、9 月 28 日より特急「南風」「しまんと」「あしずり」および「うずしお」で定期運用に入りました。また、伝統の「アンパンマン列車」への投入も予定されています。近年空気ばね車体傾斜方式が増える中、新形式としては 18 年ぶりに制御付き自然振りシステムを用い、優れた技術を継承するとともに現在の特急車両としての技術や設備を備えた完成度の高い車両であることを評価して、ローレル賞に選定しました。



ローレル賞 四国旅客鉄道 2700 系

写真：鉄道友の会

ブルーリボン賞・ローレル賞とは

我が国の鉄道車両の進歩発展に寄与することを目的に、鉄道友の会が毎年1回、前年1月1日から12月31日までの間に日本国内で営業運転を正式に開始した新造および改造車両から選定している賞です。



ブルーリボン賞（1958年制定）

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果に基づき、選考委員会が審議して最優秀と認めた車両を選定します。



ローレル賞（1961年制定）

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会が選んだ候補車両に対する会員の投票結果を参考にして、選考委員会が審議して優秀と認めた車両を選定します。

ブルーリボン賞・ローレル賞選考委員会

鉄道車両に精通するベテランの鉄道友の会会員で構成します。
なお、今年の選考委員は9名、候補車両は16系列・形式でした。

添付資料

過去のブルーリボン賞・ローレル賞選定車両一覧

本件につきましてのお問い合わせは下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16
ヒューリック市ヶ谷ビル 3階
鉄道友の会（本部事務局） 担当：鹿山
TEL & FAX 03-5215-0305
URL <https://www.jrc.gr.jp/>

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その1)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1958	小田急電鉄 3000形	(制定なし)
1959	日本国有鉄道 151系	(制定なし)
1960	近畿日本鉄道 10100系	(制定なし)
1961	日本国有鉄道 キハ81系	京阪神急行電鉄 2000系・2300系
1962	名古屋鉄道 7000系	日本国有鉄道 401・421系
1963	近畿日本鉄道 20100系	京王帝都電鉄 3000系
1964	小田急電鉄 3100形	京王帝都電鉄 5000系
1965	日本国有鉄道 0系	山陽電気鉄道 3000系
1966	名古屋鉄道 キハ8000系	札幌市交通局 A830形
1967	近畿日本鉄道 18200系	長野電鉄 0系
1968	日本国有鉄道 581系	該当車なし
1969	日本国有鉄道 EF66形	東京都交通局 6000形
1970	西武鉄道 5000系	大阪市交通局 60系
1971	該当車なし	名古屋鉄道 モ600形
1972	日本国有鉄道 14系(寝台車)	帝都高速度交通営団 6000系
1973	日本国有鉄道 183系	小田急電鉄 9000形
1974	京成電鉄 AE形	西日本鉄道 2000形
1975	該当車なし	日本国有鉄道 24系25形(寝台車) 黒部峡谷鉄道 EH形
1976	阪急電鉄 6300系	日本国有鉄道 キハ66・67形 東京急行電鉄 8500系 富士急行 5000系
1977	名古屋鉄道 6000系	上信電鉄 1000系 札幌市交通局 6000形
1978	近畿日本鉄道 12400系	東京都交通局 新7000形 神戸市交通局 1000形
1979	近畿日本鉄道 30000系	京浜急行電鉄 800形 日本国有鉄道 オハ50系
1980	江ノ島鎌倉観光 1000形	名古屋鉄道 100系 北総開発鉄道 7000形 富山地方鉄道 14760系
1981	小田急電鉄 7000形	日本国有鉄道 117系 長崎電気軌道 2000形
1982	箱根登山鉄道 1000形	福岡市交通局 1000系
1983	京浜急行電鉄 2000形	日本国有鉄道 200系 熊本市交通局 8200形
1984	日本国有鉄道 14系700番代	京阪電気鉄道 6000系
1985	名古屋鉄道 8800系	帝都高速度交通営団 01系 樽見鉄道 ハイモ180形
1986	伊豆急行 2100系	南海電気鉄道 10000系 日本国有鉄道 100系
1987	北海道旅客鉄道 キハ83・84形	北大阪急行電鉄 8000系 近畿日本鉄道 7000系 四国旅客鉄道 キハ185系
1988	小田急電鉄 10000形	仙台市交通局 1000系
1989	近畿日本鉄道 21000系	九州旅客鉄道 783系
1990	東日本旅客鉄道 651系	西日本旅客鉄道 221系 四国旅客鉄道 2000系
1991	東武鉄道 100系	東日本旅客鉄道 251系 大阪市交通局 70系
1992	小田急電鉄 20000形	東日本旅客鉄道 253系 九州旅客鉄道 キハ200系

■ ブルーリボン賞・ローレル賞 選定車両一覧 (その2)

年度	ブルーリボン賞	ローレル賞
1993	九州旅客鉄道 787系	東海旅客鉄道 300系 日本貨物鉄道 EF200形
1994	該当車なし	日本貨物鉄道 DF200形
1995	南海電気鉄道 50000系	北海道旅客鉄道 キハ281系
1996	九州旅客鉄道 883系	日本貨物鉄道 コキ71形 東海旅客鉄道 383系
1997	該当車なし	北海道旅客鉄道 731系
1998	西日本旅客鉄道 500系	熊本市交通局 9700形 叡山電鉄 900形 近畿日本鉄道 5800系
1999	西日本旅客鉄道/東海旅客鉄道 285系	スカイレールサービス 200形
2000	東日本旅客鉄道 E26系	広島電鉄 5000形 東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道 700系 東日本旅客鉄道 209系950番代
2001	九州旅客鉄道 885系	名古屋鉄道 モ800形 近畿日本鉄道 3220系・5820系・9820系
2002	東日本旅客鉄道 E257系	西日本旅客鉄道 キハ187系
2003	近畿日本鉄道 21020系	岡山電気軌道 9200形 鹿児島市交通局 1000形
2004	四国旅客鉄道 5100形	該当車なし
2005	日本貨物鉄道 M250系	九州旅客鉄道 800系 長崎電気軌道 3000形
2006	小田急電鉄 50000形	名古屋鉄道 2000系 愛知高速交通 100形 広島電鉄 5100形 福岡市交通局 3000系
2007	富山ライトレール 0600形	東日本旅客鉄道 E233系 西日本鉄道 3000形
2008	東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道 N700系	東日本旅客鉄道 キハE200形 東日本旅客鉄道 E721系/仙台空港鉄道 SAT721系
2009	小田急電鉄 60000形	豊橋鉄道 T1000形 京阪電気鉄道 3000系
2010	東日本旅客鉄道 E259系	近畿日本鉄道 22600系
2011	京成電鉄 AE形	東京地下鉄 16000系
2012	東日本旅客鉄道 E5系	日本貨物鉄道 HD300形900番代
2013	東京地下鉄 1000系	該当車なし
2014	近畿日本鉄道 50000系	東日本旅客鉄道 E6系 福井鉄道 F1000形
2015	東日本旅客鉄道 E7系/西日本旅客鉄道 W7系	東日本旅客鉄道 EV-E301系 箱根登山鉄道 3000形
2016	阪神電気鉄道 5700系	東日本旅客鉄道 HB-E210系 四日市あすなろう鉄道 新260系
2017	九州旅客鉄道 BEC819系	東日本旅客鉄道 E235系 えちごトキめき鉄道 ET122系1000番代 静岡鉄道 A3000形
2018	西日本旅客鉄道 35系客車	東日本旅客鉄道 E353系 東武鉄道 500系 鹿児島市交通局 7500形
2019	小田急電鉄 70000形	相模鉄道 20000系 叡山電鉄 デオ730形「ひえい」
2020	西武鉄道 001系	四国旅客鉄道 2700系